

平成26年度事業計画書

公益財団法人 鍋島報効会

(公益目的事業)

1. 徴古館(登録博物館)の運営

1) 展示公開事業

a. 企画展

旧佐賀藩主侯爵鍋島家伝来の当会所蔵資料をもとにテーマを設定し、原則年4回程開催する。また、年1回佐賀市と共催で「さが城下ひなまつり」を開催する。本年度は特別に「鍋島直正公生誕200年記念事業」として、直正公の人物像に迫る、あるいは人格形成や近代化事業の推進に携わった人々などに焦点を当てた展示を4回実施する。

平成26年度
企画展予定

第66回展「幕末の名君誕生」
平成26年5月19日(月)～7月5日(土)

第67回展「鍋島直正が信頼した男たち」
平成26年7月28日(月)～9月13日(土)

第68回展「鍋島直正の本音 ー愛娘への手紙」
平成26年10月6日(月)～12月6日(土)

第69回展「鍋島直正公ご一家」
平成27年1月5日(月)～1月31日(土)

第70回展「鍋島家の雛祭り」
平成27年2月21日(月)～3月31日(土)

b. 講演会

主に展示のテーマ(歴史・文化など)に即した内容で、県民(県外もあり)を対象に実施する。

c. イベント

展示開催中に多目的ホールなどを活用し、演奏会や茶道・香道などのイベントを実施する。11月9日(日)雅楽演奏会を予定。

2) 調査研究事業

博物館としての本来の調査研究活動を継続しつつ、以下の活動を実施する。

a. 調査研究活動

佐賀城及び城下町の歴史的資料を収集し、調査研究するとともに、その成果を展示や体験活動へ反映させる。また、「鍋島直正公生誕200年記念事業」の一環として、平成17年度より翻刻を進めてきた「直正公書簡集」を出版する。

b. 歴史・文化体験活動

御城下絵図等の読み解きや文献等の研究成果を反映したまち歩き(城下探訪会)は好評で、年々参加者も増加している。本年度は「鍋島直正公生誕200年記念事業」の一環として、直正公関連のテーマで9月～12月で計4回実施し、佐賀の歴史・文化、特に直正公の偉業を広く学ぶ機会を提供する。

3) 収蔵保存事業

収蔵資料をより良き状態で保ち後世に伝えていくため、収蔵庫に24時間空調を実施し、温湿度に注意を払い、また燻蒸等を行い資料の保全に努める。本年度は初代勝茂所用の「青漆塗萌黄威二枚胴具足」(県重文)の修復を行う。また、本館より収蔵庫に向かう渡り廊下の環境改善のための手当を検討する。

4)施設貸与及び保全

佐賀県内の自然や歴史・文化等の研究を行っている団体に対し、研究発表や講演会等の会場として多目的ホールを貸与する。この活用のため、本年度は徴古館2階に非常警報設備を設置する。また、国の登録有形文化財でもある徴古館の建物自体を良好な状態で維持管理し、博物館事業を継続させる。

2. 史跡等の保存事業

佐賀県及び旧佐賀藩主鍋島家にゆかりのある史跡や文化財等を保存し維持することにより、県民の歴史にふれる機会を高める。当会所有の鍋島家春日御墓所、十可亭跡公園、高伝寺御墓所及び御位牌所、鍋島直茂生誕地・胞衣塚、築地反射炉跡記念碑、万部塔と六地藏、弘道館記念碑はもちろん、他についても必要に応じて維持保存に努める。

3. 研究助成事業

歴史・文化・自然等分野を問わず「佐賀」に関する研究に対し助成を行う。1年間に亘る研究の成果の報告会を開催するとともに2ヶ年に一度研究報告書を発行し広く県民に公表する。(来年度発行予定)

平成26年度助成予定者(研究テーマ)

秋元 茂陽	「佐賀藩主鍋島家の墓制史の考察」
森谷 美保	「香蘭社に秘蔵された明治期のデザイン画 ―温故図録と、1900年パリ万博へのデザイン画を中心に―」
布施田哲也	「鍋島直正公を診察した米国医師Boyerの診察記録(1968.7.30 Kyoto)」
吉岡 誠也	「幕末期の開港場長崎と佐賀藩 ―長崎警備・新政府への引き継ぎを中心に―」
榎本 碧	「現存する歴史的土木構造物にみる筑後川河口の川港の歴史」

4. 一般助成事業

当会の定款に記載の目的・事業内容に合致する活動を行っている団体等に助成する。

平成26年度助成予定団体

歴史	松浦党研究連合会 佐嘉・松原神社
教育	公益財団法人 佐賀育英会 佐賀県中学校体育連盟 池谷聖実(工房くらし月)
文化	佐賀美術協会
自然	佐賀植物友の会 佐賀県菊花愛好会 佐賀自然史研究会
福祉	NPO法人 国際下宿屋
その他	佐賀ん町屋ば甦らす会

(収益事業)

1. 不動産賃貸に関する事業

基本財産の土地及び建物を活用し、貸地、貸家及び駐車場等の事業を行い、その収益を公益目的事業会計へ繰入れることにより、公益活動の財源とする。本年度は松原・楽天町他貸地の契約満期となる案件が多く、その対応及び跡地活用のための費用が発生する。